

どうなる？茨木市の交通と暮らし

2月定例会都市住宅常任委員会での質問報告
令和8年大阪府議会都市住宅常任委員会において、茨木市の交通環境やまちづくりに関する課題について質問を行いました。



議会の様子は動画でご覧いただけます
@opatoshijutaku



Q1 大阪モノレールの運賃と生活利用者への配慮

大阪モノレールは他の鉄道と比べ運賃が高く、生活利用者への負担が大きい。料金の見直しについて府の考えを伺う。

A 今後も安全対策や車両更新、延伸事業への投資が必要であり、自律的な運営に配慮しつつ、引き続き必要な助言を行っていく。

要望

定期券の値下げ等の取り組みを踏まえ、生活利用者へのさらなる運賃負担の軽減を引き続き求める。

Q2 箕面市川合・山之口地区の大規模商業施設の立地に伴う渋滞対策協議

協議会の設置が進まない中で交通対策の協議が行われていると聞か、現在の協議状況について伺う。

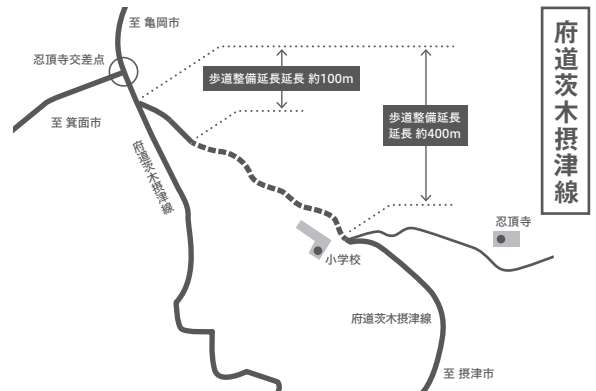
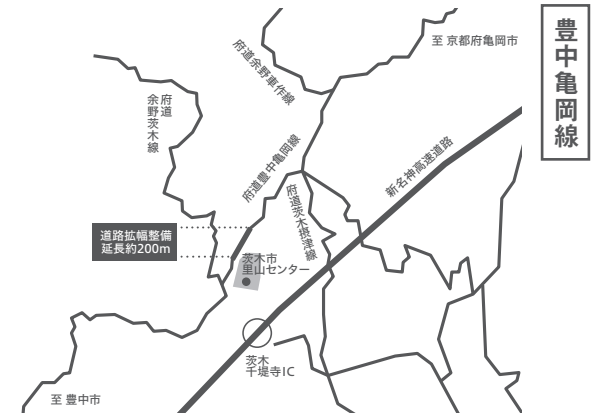
A 協議では、入場待ち車両が府道上に滞留しないよう敷地内に十分な待機スペースを確保するなど、周辺交通への影響を最小限に抑えるための措置を事業者に求めている。

要望

渋滞の発生を未然に防ぐため、引き続き適切な交通対策に向けた協議の継続を求める。

Q3 豊中亀岡線・茨木摂津線の幅員狭小区間の整備

豊中亀岡線泉原地区および茨木摂津線の通学路において、幅員狭小区間や未整備区間の整備が進んでいない。地籍混乱の解消を含めた今後の対応について伺う。



A 地図訂正に関する合意形成に時間を要しているが、茨木市等と連携し、整備に向けて引き続き粘り強く取り組む。

Q4 万博アリーナ周辺の整備における渋滞対策

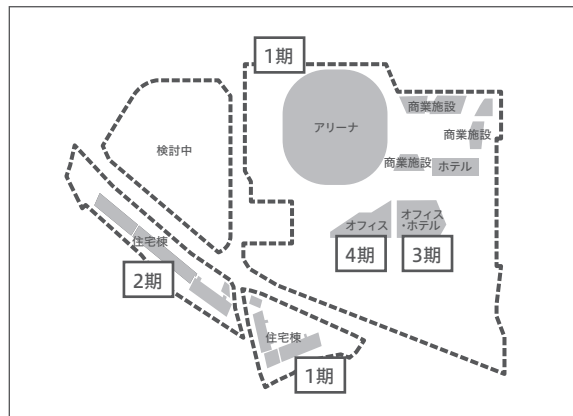
万博アリーナ整備において、交通環境への影響確認および渋滞対策に関する協議はどのように行われているのか伺う。

A イベント開催時の府道への影響を最小限に抑えるための対策を求め、開発後の交通量予測や検証を行い、影響がほとんど生じないことを確認している。

開業後に予想を上回る交通集中により渋滞が発生した場合の対応について伺う。

A 開業後に交通が予想以上に集中し渋滞が発生した場合は、吹田市に働きかけ、事業者に追加対策を求めるとともに、関係部局と連携して対応する。

施設配置計画



Q5 彩都西駅からの自動運転バスの導入検討

南河内地域で進められている自動運転バスについて、レベル4（完全無人運転）の導入時期の見通しを伺う。

A 令和10年度までの実証実験期間内に、全区間でのレベル4運行の実現を目指す。

彩都西部地域と東部地域を結ぶ新設道路について、自動運転バスの導入を見据えた整備の考えを伺う。

A 自動運転バス事業者との意見交換では、他路線と比べ課題は比較的少ないと認識している。まずは路線バス導入の可能性について、関係者と検討を進める。

Q6 シェアモビリティのポート整備の拡充

電動自転車や電動キックボードなどのシェアモビリティの普及に向け、公共用地の活用などを含めた大阪府の関わり方について伺う。

A シェアモビリティは市町村が主体的に取り組むことが重要と認識している。府域を4ブロックに分けた意見交換会を通じて情報提供を行うとともに、必要に応じて市町村間のマッチングを支援していく。

TOPIC 1

市内でも交通環境の改善が進んでいます

モノレール豊川駅交差点



彩都方面からの進入車線が2車線化され、交通の円滑化が図られました。

鳥飼八丁富田線・目垣交差点



区画線の改修により安全性が向上し、あわせて渋滞対策が進められました。

安威3丁目交差点(南向き)



右折信号の時間を朝夕のピーク時に9秒から18秒へ延長し、右折待ちの緩和が図られました。

TOPIC 2

子ども・大学生等への食費支援事業について

大阪府では、原則22歳までの方を対象に食費支援事業を実施しています。受付期間は令和8年3月26日から6月25日までです。

[詳細はこちら](#)

